

一 般 質 問

令和7年第4回(6月)三股町議会定例会

1

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	楠原 更三	1 自治公民館制度の現況について	① まちづくりの観点から自治公民館の存在自体を条例や規則で明記できないか。	町長 教育長
			② 町行政にとって、自治公民館はどのような位置づけとなっているのか。	町長 教育長
			③ 自治公民館は必要だという強いメッセージを町として出せないか。	町長 教育長
			④ 役員のなり手不足への行政として可能な範囲での支援はないか。	町長 教育長
			⑤ 三股町行政事務連絡員の委託業務及び区域に関する規則について (1)この規則のこれまでの改正内容 (2)『町民へ』の行政情報の周知徹底度合いは、満足いくものか。 (3)改正が必要と思われる箇所はないか。	町長
			⑥ 町自治公民館組織活動交付金交付要綱について (1)この要綱のこれまでの改正内容 (2)交付金交付状況 (3)地域割り額の算出根拠 (4)改正が必要と思われる箇所はないか	教育長
		2 文化財を活用した地域活性化について	① 梶山・勝岡・樺山の各山城跡について、町全体や地元住民への説明はどのように、どれくらい行われてきたのか。	町長 教育長
			② 八巻孝夫先生の講演記録を梶山城跡整備事業の機運醸成とまちづくりのために活用してきたのか。	町長 教育長
			③ 交流人口・関係人口の拡大について (1)南九州にある山城を持つ自治体(特に12外城のある自治体)と協働した動きは考えられないか。 (2)ジャンカン馬・太郎踊り・棒踊りなど同様の民俗芸能を持つ他自治体との合同祭の開催は考えられないか。 (3)ジャンカ馬・太郎踊り・棒踊りなどの指定文化財化の動きは。	町長 教育長
		2	堀内 和義	1 町道の舗装整備について
② 町道と農道の区別、どのような基準で定めているのかまた、農道の延長と舗装率は。	町長			
③ 交通量にもよると思われるが、舗装の耐用年数は何年になるのか。	町長			
④ 町道の舗装工事の㎡当たりの単価、及び全町道を再舗装すると仮定した場合の経費総額はどれくらいになるのか。	町長			
⑤ 町道の全般的な老朽化を考慮すると中長期的計画での舗装整備が必要と思われるが、どのように考えているのか。	町長			
2 三股町における職員等の内部通報に関する取扱いについて	① 公益通報者保護法に基づき、三股町及び職員等からの法令違反行為等の内部通報を適切に取扱うようになっていくが、職員等への周知はなされているのか。		町長	
	② 内部通報者の秘密保持、個人情報の保護は徹底されるのか。		町長	
	③ 職員からの内部通報はないのか。		町長	
	④ 町と契約関係にある事業者からの内部通報の取扱いはどのような方法でなされているのか。また、通報はないのか。		町長	
	⑤ 内部通報処理委員会の構成と選任方法は。		町長	

一 般 質 問

令和7年第4回(6月)三股町議会定例会

2

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3	堀内 義郎	1 墓地公園(墓苑高才原)の利用について	① 墓地公園(墓苑高才原)の利用状況は。	町長
			② 納骨堂組合における意見として今後、後継者や身寄りがなく管理が行き届かない墓苑が増えるのではとないかと聞か、祭祀継承者の負担を減らすために、苑高才原に永代供養として合葬墓は考えられないか。	町長
		2 リチウムイオン電池の回収について	① 環境省より、リチウムイオン電池の相次ぐ火災や発火事故の発生により、回収を市町村に求める方針をまとめた事について、本町としての対応は。 (1)ゴミ収集時におけるゴミ収集車の火災発生の現状はどうか。 (2)リチウムイオン電池の回収について、回収協力店での回収とあるが具体的な対応は。 (3)ゴミステーションに回収ボックスの設置についてはどうか。	町長
		3 防災・減災対策について	① 避難所の運営として国からの防災備蓄品の導入費用を受け、不足する備品の点検や購入、及び上下水道の耐震化について (1)トイレなど衛生面についての点検やトイレカー、自己処理型水洗トイレの購入についてはどうか。 (2)炊き出しセット、プライバシーを確保する仕切りについてはどうか。 (3)各避難所の運営を円滑にするため、「避難所初動運営キット」を設置すべきではないか。 (4)国土強靱化に伴う上下水道の耐震化についてはどうなのか。	町長
			② 木造住宅の耐震化について (1)耐震診断の受付を行っていない理由は。 (2)耐震診断・改修の現状はどうか。 (3)高齢者世帯の耐震改修を促すため、費用負担を軽減するためとして「リ・バース60」の推進は考えられないか。	町長
		4	中原 美穂	1 PPPによる五本松交流拠点施設整備事業における説明責任・管理体制・将来見通し・適正な運用。今後の体制整備について
② 将来の利用予測・人口動態に応じた柔軟な設計・スケラブルな整備(段階整備等)の検討は行ったか。	町長			
③ 五本松という立地に、防災・交通・観光・医療・教育の観点から適正配置であるとの判断根拠を示せるか。	町長			
④ 可決されたとはいえ、具体的な配置・規模・機能が固まる前に、町民への再意見聴取やワークショップの開催を検討すべきでは。	町長			
⑤ 説明責任を果たす上で、財務構造や維持管理費の「長期見通し」や「効果検証指標(KPI)」の事前公開はできないか？また、町が計画の全体像を示す前に、設計や事業者の募集が先行しているはなぜなのか。	町長			
⑥ 本事業の30年スパンでの財政影響(イニシャルランニング)の見通しは。町の総合計画との整合性は。	町長			
⑦ 現在採択されている補助制度において、庁舎機能の一部導入が制度上あるいは実務上可能かどうか。	町長			
⑧ 現在の設計を活かしつつ、行政窓口などを含む複合施設への転換が検討可能か。	町長			
⑨ 今後、最終設計段階で一体化による運営効率・職員導線・住民利便の最大化に向けた再検証を行う考えはあるか。	町長			
⑩ 庁舎機能と交流機能を別々に整備した場合の費用・維持管理コストと、現行の一体型との比較分析を実施したか。	町長			
⑪ 元気の杜や文化会館など、既存施設との機能分担・移転再編・再利用についての検討状況は。	町長			

一 般 質 問

令和7年第4回(6月)三股町議会定例会

3

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手		
5	新坂 哲雄	1 農業対策について	① 毎年、農家人口が年間20名～30名ほど減少しているが、今後の政策は。	町長		
			② 離農やコメ不足が社会課題となっているが、生産調整(ローテーション)の見直しは。	町長		
		2 空家対策は	① 現在の空家(共同住宅を除く)件数は。	町長		
			② 解体費用は助成はないのか。(景観が良くないため)	町長		
		3 県道33号線歩道計画は	① 長田峡残り200メートルの拡張工事進捗状況は。長田歩道計画(約700メートル)は、10年度までに完了と聞いているが。	町長		
		6	田中 光子	1 公共施設等の計画について	① 現在保有する公共施設の総数と、昨年度の維持管理に要した費用の総額は。	町長
					② 今後10年間で、公共施設の老朽化に伴い、維持管理費はどのように推移すると予測しているか。	町長
					③ 公共施設の最適化、例えば統廃合や複合化について、具体的な検討状況は。	町長
					④ 維持管理費の抑制に向けた具体的な取り組み、例えば長寿命化計画の進捗状況や、包括管理委託の導入検討状況は。	町長
⑤ 現在、三股町の避難所として指定されている体育館にはエアコンが設置されていないが、この現状について町はどのように認識されているか。特に夏季における避難者の健康や安全面への影響について、どのように考えているか。	町長 教育長					
⑥ 避難者の健康と安全を守る観点から、全ての指定避難所への空調設備設置について、町としてどのように検討されているのか。具体的な計画やスケジュールは。	町長					
⑦ 西部地区体育館の空調設備設置の要望があるが、設置にあたっての課題(費用面など)と、その解決に向けた町の考えは。	町長 教育長					
⑧ 五本松交流拠点施設の建設計画について、町はどのような必要性を認識しているのか。既存の施設ではその目的を達成できない理由は。	町長					
⑨ 交流拠点施設の建設にあたり、町民の皆様はどのような公共サービスのあり方を望んでいると考えているか。町民のニーズをどのように把握しているか。	町長					
7	内村 立吉	1 水田作付状況について	① 令和7年度の本町の水田作付面積、作付の内訳(生食用米、WCS飼料作物、加工用米、飼料用米、その他(里芋、甘藷))はどのようであるか。	町長		
			② 水田作付面積、作付の内訳は、前年度と比較してどのようであるか。	町長		
		2 樺山用水路(福留用水路)について	① 代替水路仮設工事の状況はどのようであるか。	町長		
		3 相統土地国庫帰属制度について	① 本町における国が引き取った土地(農地、宅地、森林、その他)があるのか。	町長		
		4 畜産について(和牛・子牛)	① 令和元年度、令和6年度の県内市場の取引頭数、平均価格(メス、去勢)は、どのようであったか。	町長		
			② 令和元年度、令和6年度の都城市場の取引頭数、平均価格(メス、去勢)は、どのようであったか。	町長		
			③ 補助事業についてはどのようであったか。	町長		
			④ 令和7年3月以降、価格が上昇した原因についてどのようか。	町長		
			⑤ 口蹄疫、豚熱、牛のランピースキン病についての家畜伝染病対策はどのようであるか。	町長		

一 般 質 問

令和7年第4回(6月)三股町議会定例会

4

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	岩津 良	1 地域の支え手確保と町民が関わりやすいしくみについて	① 民生委員の担い手不足が深刻化する中で、町内では公民館長や消防団等、委嘱や推薦による役職も同様に人材の固定化や高齢化が進んでいる。こうした地域支え手の不足に対し、町として制度や仕組みの見直しをどのように考えているのか。	町長 教育長
			② 民生委員をはじめとする委嘱・役職者や、消防団員等も含め、報酬や費用弁償の物価高騰の影響による見直し求められる。報酬支援や費用弁償の改定について検討できないか。	町長 教育長
		2 デジタルデバイド(情報利用格差) 解消に向けた地域支援策について	① バスロケーションシステムなど、町が導入したICT(情報通信技術)施策について、操作に不安のある高齢者をはじめ、利用に至らないケースを避けるためにも、利用を広げるための周知や支援のあり方について整理していく必要があるのではないか。	町長
			② 行政手続きや防災情報などのデジタル化が進む中、スマートフォンの操作に不安を感じる町民が支障を抱える場面もある場合。町として、相談や支援の体制整備をどのように進めていくのか。	町長
			③ ICT(情報通信技術)の理解と活用を広げるためには、学校や地域団体、民間との連携が有効とされている。町として、世代を超えた学び合いの場をどのように広げていくのか。	町長
		3 空き家の増加と地域環境管理の在り方について	① 空き家の増加により、防災・防犯・景観などの課題が生じている。令和5年の空家法改正で可視化や管理強化が進められる中、町は空き家の実態把握や分布整理を今後どう進めていくのか。	町長
			② 管理不全の空き家や所有者不明の土地に対し、近隣住民から不安や苦情の声も上がっている。町として、現行制度での対応状況と、今後の改善策をどのように考えているのか。	町長
			③ 空き家の利活用や発生抑制には、民間や地域団体との連携が不可欠であると感じるが。町として、空き家バンクの活用や若年層・移住者への支援を今後、どのように強化していくのか。	町長
		9	西村 尚彦	1 近年の財政状況とこれからの財政運営について
② 近年(令和3年～5年)の一般会計の町債の残高と実質公債費比率の推移は。また特別会計及び企業会計を加えた町全体の町債残高の推移は。	町長			
③ 町債残高のうち交付税措置のある有利な町債の割合は。	町長			
④ 中期財政計画から見る今後の公債費と町債残高の推移は。	町長			
⑤ 近年(令和3年～5年)の一般会計の基金(財政調整基金、公共施設等整備基金、減債基金)の残高の推移は。	町長			
⑥ 近年(令和3年～5年)の実質収支比率、経常収支比率、財政力指数の推移は。	町長			
⑦ これからの財政運営の見通しと今後の課題は。	町長			
2 新地方公会計制度の活用について	① 新地方公会計制度の趣旨とその目的は。			町長
	② 財務書類4表を公表するようになってきているが、これまでの公表の状況とこの公表により、何がわかり、財政運営にどう活用されるのか。			町長
	③ 議会や町民にわかりやすく情報を開示すべきだと思うが今後どのように取り組まれるのか。			町長
			④ 新地方公会計制度の運用にあたり、専門的な知識や体制の構築が必要になると思うが、どのように取り組んでいくのか。	町長

一 般 質 問

令和7年第4回(6月)三股町議会定例会

5

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
10	上西 雅子	1 孤立・孤独及び自殺防止対策について	① 令和4年度の都城保健所調べで、この地域の自殺者の割合が高い事が判明した。町の自殺防止、及び孤独・孤立防止対策の具体的な取り組みを問う。	町長
			② この数年間では、県内の特に10代、20代の若者も自殺者が増加している。教育現場での具体的な対策・取り組みについて問う。	町長 教育長
			③ 三股町社協の、孤独・孤立防止に向けた取り組みが注目され、全国の自治体や大学から視察が多く来ており、また海外の研究チームの視察もあると聞くが、具体的にどのような取り組みなのか、どういった点が評価されているのか質問する。	町長
			④ それらの取り組みを含め、町としての今後の課題について質問する。	町長
		2 民生委員のなり手不足の問題について	① 各公民館長向けに、民生委員・児童委員の一斉改選に伴う候補者推薦の通達が行われたが、年々なり手不足が問題となっている。その対策に向けて、町として取り組んでいる事はあるのか、質問する。	町長
			② 民生委員・児童委員になって頂けるよう声かけすると、「大変そう」「仕事をしているから」「自分は人格が高くないから」等の理由でお断りされるケースが多い。具体的にどのような業務をするのか、「見える化」することが必要ではないか。	町長
			③ 先進地域の事例等を参考にして、地域住民による「見守り協力員」のようなものを組織し、各地域の民生委員を支える仕組みをつくっていく必要があるのではないか。	町長
		3 各地域ごとの防災対策について	① 災害が起きた時の要支援者への対応等は、行政だけでなく、各地域でどう支え合う体制をつくっていくかが大切だと考える。その事を町としてどのように進めていくのか、質問する。	町長
			② 南海トラフ地震を見据え、各地域に合わせた具体的な防災・減災対策を町民同士で話し合い、今不足しているハード・ソフト面の資源について出し合う等の取り組みが、今後必要なのではないか。	町長
		4 災害に備えた備品等の整備について	① 現在、様々な災害に備えた体制整備(ハード・ソフト両面)を、町としてどのように進めているのかを質問する。	町長
			② 今後の災害用の機器・備品等(トイレ・ベッド等)の整備について、購入予定の物等はあるのか質問する。	町長
			③ 災害時以外でも活用できる移動式トイレの購入を、町として検討できないか。	町長